

## HIF-PH 阻害薬による貧血改善効果の検討に関する研究のお知らせ

帝京大学医学部附属病院では以下の研究を行います。

本研究は、倫理委員会の審査を受け承認された後に、関連の研究倫理指針に従って実施されるものです。

研究期間：2022年8月23日～2027年12月31日

〔研究課題〕 HIF-PH 阻害薬による貧血改善効果の検討

〔研究目的〕 低酸素誘導因子(hypoxia-inducible factor:HIF)は、低酸素に対する防御機構を担う重要な因子でありその発現は、酸素依存性に活性を持つ HIF-prolyl hydroxylase(HIF-PH)により調節されています。そしてエリスロポエチン(Erythropoietin, EPO)の産生を介して赤血球造血を促進する作用を有しています。近年、この低酸素に対する応答がエリスロポエチン産生を調節することを利用した腎性貧血治療薬(HIF-PH 阻害薬)として臨床使用できるようになりました。また一方で HIF は鉄吸収や鉄利用に関わる遺伝子の発現調節を介し、鉄が造血に有効に使用できるようにしています。このように、HIF は EPO 産生と鉄代謝を改善するという多面的な作用で貧血を改善していますが、どのように制御されているのか十分に明らかになっていません。そこで本研究では、慢性腎臓病患者における HIF-PH 阻害薬の多面的な効果や機序に関して、探索的に検討し、診療上に有用な情報を得ることを目的としています

〔研究意義〕 本研究の解析により診療の質の改善、薬の効率的な使用を可能にします。

〔対象・研究方法〕 調査対象となるのは2024年6月末までに当大学附属病院に受診し HIF-PH 阻害薬の投与を開始した患者様。調査項目は、年齢、性別、臨床症状、検査データ、治療方法、経過などです。

〔研究機関名〕 帝京大学医学部附属病院

〔個人情報の取り扱い〕 研究で知り得た個人情報については、内科医局内で管理し、外部に漏洩しないように細心の注意を払って厳重に管理します。あなたの検体や臨床検査データを、個人情報がわからないよう加工し、あなたの名前は付けずに番号だけを付けて扱います。帝京大学臨床研究センターで10年保管の対象です。研究終了後は、情報が外部に漏洩しない方法で破棄します。

〔その他〕 今回の研究で得られた全体的な結果については、医学的な専門学会や専門雑誌などで報告されることがあります。

対象となる患者様で、ご自身の検査結果などの研究への使用をご承諾いただけない場合や、研究についてより詳しい内容をお知りになりたい場合は、下記の問い合わせ先までご連絡下さい。

ご協力よろしくお願い申し上げます。

問 い 合 わ せ 先

研究責任者：内科学講座 教授 柴田茂

住所：東京都板橋区加賀 2-11-1

TEL：03-3964-1211(代表)〔内線 40355 〕